

イラクの子どもを救う会

発行：イラクの子どもを救う会 発行人：西谷文和
〒564-0041 吹田市泉町1-22-33
TEL 06-6170-4757
E-mail : nishinishi@r3.dion.ne.jp URL: http://www.nowiraq.com/

NEWS

No.58

March 2022

タリバン後のアフガンは今

2月12日から18日まで、タリバン政権下のカブールに入った。アフガン入国はこれで12度目だが、人々は今までで一番苦しんでいるように見えた。タリバンの圧政で？ いや、アメリカの経済制裁と援助物資の未配で。街を歩くとブルカ姿の女性はもちろん、子どもたちや失業中の男性までが手を差し出して「金をくれ」。この事態を招いたのはアメリカだ。勝手に戦争を仕掛け、勝手に撤退し、勝手に経済制裁。ウクライナ問題もあって、アフガンはほとんど忘れられて行く。もちろんロシアによるウクライナ侵略戦争は暴挙であり、すぐに停戦させるべきだ。その一方でアメリカによるアフガン戦争も決して曖昧にしてはならない。米口の2大国はどちらも侵略戦争をしたのだ。戦争犯罪を追究し続けたいので、今後もアフガンに入るつもりだ。

アブドラと再会

2月12日、カブール国際空港で通訳のアブドラと1年半ぶりに再会。以前はジーンズにジャケット姿だった彼だが、アフガン民族衣装に身を包み、傍らにはタリバン政権の護衛と運転手。ジャーナ

リストは全て「アメリカのスパイ？」と疑われるので、私を監視する「護衛」がつくのだ。空港を出て国道に行く。明らかに通行人が減っている。富裕層が国外に亡命し、失業中の人々はそもそも外出する理由もない。そして明らかに女性の姿が

激減している。

消された肖像画と新たな壁画

マスード將軍の肖像画が描かれた交差点に差し掛かる。なんと肖像画が消えてしまい、その代わりにタリバン旗が林立している。あー、もう元の政権には戻らないんだなー、権力の移行を実感す



中村さんの肖像画が消されてしまった



これは20年10月に撮影したもの

る。この交差点を過ぎて少し行けば、かつてのアメリカ大使館だ。大使館を取り囲むコンクリート壁には、桜の木と中村哲さんの肖像画が描かれていた。残念ながらタリバン政権になってすぐ、中村さんの肖像画は消されてしまった。

中村さんが消されて桜だけになった壁画を通り



「俺たちはアメリカを倒したぞ」と書かれている

過ぎると、「俺たちはアメリカをやっつけたぞ」。星条旗が崩れ落ちていく大壁画。

車内からこの壁画を撮影していると、「お金ちよーだい。」少女が手を伸ばしてくる。以前から物乞いの少年少女は確かにいたが、その数が飛躍的に増えている。みんなギリギリの生活なのだろう。

テロに遭った女子高校へ

2月13日、カブール中心部から車で西へ約30分、



「何も食べてないの。お金ちよーだい」。物乞いの子どもが増えた

ダシテ・バルチー地区へ。ここは主にハザラ人が住んでいる。地区内には約6千人の生徒が通うサイド・シャハダー女子校がある。21年5月8日にこの学校で大規模なテロが起きて、67名の生徒、9名の通行人が殺されてしまった。爆発&殺戮現場となった校門で立ちレポ。爆発は3カ所で10分以内に連続で起きた。爆弾を積んだ自動車が下校する女子学生を狙い撃ちにしたのだ。なぜ罪なき少女が殺されてしまったのか？ハックリー校長(女性)によると、それ

は①私たちがハザラ人だから。②インテリジェントな人材を抹消したかったから。③女性だったから。

犯行に及んだのはおそらくISかISに洗脳されたグループだ。ハザラ人はモンゴル系のシーア派で、普段から差別されている。スンニ派のISはシーア派は殺害してもいいと考えている。「女性は勉強してはならない」とマララ・ユスフザイさんの頭に銃弾を撃ち込んだのはパキスタン・タリバンだった。残念ながら狂信的なイス



殺された2人の娘。18歳と14歳だった

ラム原理主義者がこの地にもいる。4名の父親が遺族を代表してインタビューに応じてくれた。ラジャーブさんは14歳と18歳の2人の娘を失った。彼のスマホには2人の写真が残っていた。日本からの支援金で学用品を購入して配る。学校は冬休みだったので生徒たちの姿はなかったが、



ノートやインクなど学用品を援助しました。右端がラジャーブさん

4人の父親と記念撮影。なぜ授業が行われていない？

ここで私の疑問を少し。カブールの冬はとても寒いので確かに冬休みだったのかもしれない。しかし女性校長も男性教師も私のカメラを嫌がった。私の後ろにはタリバンの護衛がいるからだ。タリバン政権下で女子高校の授業は再開されるのか？もし再開されたとしても、女性校長を始めスタッフは危険な目に合わないだろうか？夏にまたカブール入りする予定なので、確かめてみよう。

誤爆に始まり誤爆に終わった

2月14日、街中に多数の風船売り。風船に「I



カローラは撤去され、4WD車だけが残っていた

「LOVE YOU」と書いてある。「今日はバレンタインデー。でも街は男性ばかり。誰が買うんだろうね」通訳のアブドラが笑っている。カブールから北へ向かって車で30分、ホジャ・ボゴラ地区へ。この15番街区にゼマリ・アフマディさんの自宅があった。21年8月

29日、米軍の無人空爆機がこの家のガレージに滑り込んで来た。白のトヨタ・カローラを空爆。この3日前、8月26日にカブール空港で大規模な自爆テロと銃撃戦がありアフガン人169名、米兵13名が殺された。すぐにIS-K（イスラム国・ホラサン州）が犯行声明

を出した。バインデン政権は血眼になってIS-Kのメンバーを探していた。「次のテロを防ぐため」という名目と「何としても復讐してやる」という焦り。「テロリストは白のトヨタ・カローラに乗っている」この情報をもとに

標的を絞り込んだ。しかし無人機に追跡されていたのはゼマリさんだった。「ISがここで爆弾を積み込み、空港を狙いに行くに違いない」。カローラが駐車場に入った時、ミサイルが発射された。その時カローラの周りに7名の子どもが遊んでいた。「お父さんが帰って来た」と家から出て来た子もいただろう。カローラ



玄関には殺された10名の写真が

ラの隣にはトヨタの4WD車が停まっていた。ミサイルの破片がこの車を貫き、車は炎上した。カローラは撤去され、この4WD車だけが当時の証拠としてここに残っている。殺害されたゼマリさんは、なんと米国系の慈善団体職員だった。ずさんな情報に基づく完全な誤爆。1ヶ月後に米軍は誤爆を認めた。アフガン戦争は誤爆に始まり、誤爆に終わったのだ。玄関に殺された10名の写真が飾られている。遺族はすでにカブールを去って、今は別の住民が破壊された家を修理してここに住む。

ドドドのキャンプへ
1年半ぶりにチャライ

カンバール避難キャンプへ。キャンプ内に住むタリバンの責任者にインタビュー。難民はざっと1万3千人ほどで、何よりも食料が不足している。カブール陥落後、主に欧米のジャーナリストがたくさん来たが、彼らは写真を撮るだけで何もしてくれなかった。お前は前回食料を配ってくれた、

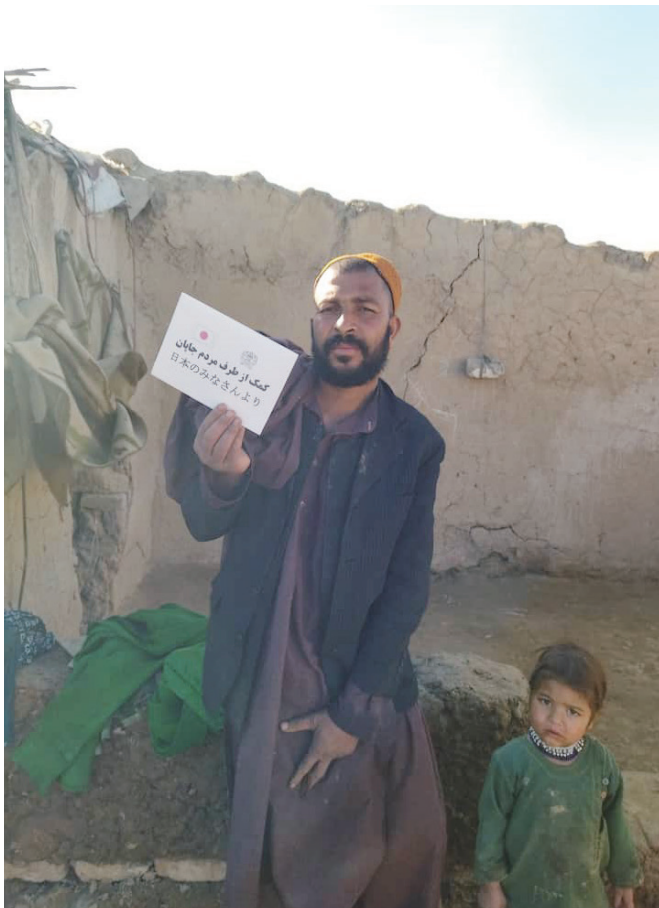


天井が崩落。風雪にさらされながらここで眠る



この状況でも子どもたちは明るい。たくましいな—

覚えていて、とのこと。これでスムーズに取材ができる。キャンプはとにかくドロドロ。雪が溶けてあちこちに泥水がたまり、何度も滑りそうになりながら、ドロドロ道を進む。天井が崩落した家がある。粗末なテントシートやビニールで補強した屋根は、雨と雪の重みに耐えられなかったのだ。



テントシート代金を援助。喜んでいた

どもが多数。これは前政権でも同じこと。生後4ヶ月の赤ちゃんが点滴を受けている。驚いたことに、前政権よりも薬や食事が充実して、何と栄養補助食まで完備している。

やけど病棟へ。大火傷の子どもが多数。①熱湯をあびる ②パン焼き釜に落下する ③暖房器具に触れてしまう。が主な原因。この子は熱湯を頭から浴びた。貧困家庭には台所もテーブルもないので地面に穴を掘って薪で湯を沸かす。夜は寒いので、乳幼児がヤカンに近づいて、ひっくり返して熱湯を浴びてしまうの

天井の崩落でヒーターが爆発。家財道具は焼けてしまった。しかし他にいくところがないので、ここで8名が寝ている。キャンプに何力所か井戸があつて、これが彼らの命綱である。雨や雪が降らなければ井戸は枯れてしまう。しかし雨や雪が降り過ぎると道路はドロドロになり天井が落ちる。井戸を背景に縄跳びする少女を撮影。後日、アブドラがキャ

ンプで食料を配布してくれた。そして天井が落ちて来た2つの家族に丈夫なテントシートを買うお金を配った。「助かった！日本のみなさんありがとう」。感謝の言葉を述べる住民をアブドラが撮影。

.....
なんと状況は改善されていた

2月16日、待望の取材許可が下りてインディラガンジー子ども病院へ。先週は許可なしに取材したノルウェー人が3人捕まっていた。まだ釈放されていない。一昨日は17名の外国人が5つ星ホテルで拘束されたばかり。だから取材許可がないと何もしかない。病院には病院のタリバン、学校には学校のタリバン、難民キャンプにはキャンプのタリバン。行政がバラバラなのでその都度許可証が必要になる。子ども病院に入る。栄養失調の子

もともとこれくらい予算はあったのだ。しかしガニ政権は汚職で腐敗し、支援金を政府高官が盗み取っていた。タリバンは良くも悪くも「清潔」なので末端に援助金が行き渡って改善されているのだった。病院の給食に肉料理。かつての「ポテトとご飯だけ」が「野菜と肉とご飯、食後にフルーツ」になっている。

.....
暖を求めた結果



栄養失調か肺炎、または熱湯で亡くなっていく

だ。薬が充実したので何とか危機は脱している。前政権時代は火傷の薬、タンパク質を復活させる薬さえなかった。この点も進化している。院長が「緊急手術用の薬が手に入らない。援助して欲しい」と申し出てきた。薬のリストを作ってもらい、後日アブドラが購入して、配布することにした。一番

必要なものは発電機だという。頻繁に停電するカブール、例えば手術時に発電機は必須なのだが、高価なので購入できないという。今回は発電機を支援できたらいいが。

.....
**米軍の武器で武装する
 タリバン**

2月18日、最終日ようやくタリバン軍の取材許可が下りた。ヤルモック軍事基地への一本道はコンクリート壁で覆われている。何ヶ所かの鉄の門扉を通る。タリバン特殊部隊の兵士が鋭い目で私たちを観察している。基地の責任者にインタビューし、兵士の撮影はNGだったが、武器の撮影許可を取る。基地内部には大量の装甲車と戦車。兵士が持っているのはM16ライフルで装甲車に備え付けてあるのが



米軍→アフガン政府軍→タリバンへ

M22マシンガン。これらは全て米軍が使用していたもの。2015年に治安権限が米軍からガニ

政権に委譲される。その6年後、21年8月15日にガニ大統領が逃亡し、あつげなくカブール陥落。アフガン軍兵士は武器を捨てて逃げたので、全て

.....
**武器があるとかえって
 危険**

な結末なのだ。

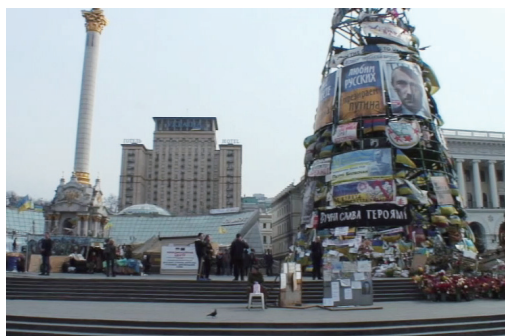
タリバンの物になった。当初は「タリバンを掃討するため」に使われていた武器が、今や「タリバン政権を支えるため、人々を弾圧するため」に使われている。これが「テロとの戦い20年」の無残な結果なのだと。その結果戦争が始まり、軍需産業だけが肥え太る。

今、ウクライナに武器を供与すべき、と欧米諸国が銃や戦車、戦闘機などを与えようとしている。これは極めて危険な行為だ。「ウクライナが武装してロシア系住民を殺そうとしている」と、逆に侵攻を強める口実をプーチンに与えてしまう。市街戦になれば間違いなく殺されるのは住民だ。私はシリア内戦でも数え切れないほどの悲劇を見てきた。なぜもつと素早く第3国が介入した停戦協議を行わないのか？ そもそもなぜ旧ソ連が崩壊したのにNATOを東方に拡大させ、ロシアを刺激していたのか？ なぜバイデンはプーチンとの首脳会談を直前になってキャンセルしてしまったのか？ その結果戦争が始まり、軍需産業だけが肥え太る。

その結果、軍事産業だけが肥え太る。積極的な平和外交でしか紛争は止められない。武器が氾濫すればするほど危険になる。これがアフガン戦争の教訓なのに。

ウクライナに平和を 積極的平和外交こそ解決の道

2014年3月、私は
 キエフの独立広場にいた。
 広場には「マイダン革
 命」(マイダンとは現地
 語で広場という意味)で
 命を落とした約120名
 の写真が飾られていて、
 バリケードになった古タ
 イヤがうず高く積みま
 れ、
 火炎瓶で焼かれた周囲
 のビルからはまだ黒いス
 スが吹き出していた。も
 とこの革命はヤヌコビ



独立広場にはヒトラーに似せたプーチンの写真も

ツチ大統領退陣を要求し
 た平和的なものだった。
 14年2月になって平和的
 なデモに、なぜか「右派
 セクター」と呼ばれる暴
 力集団が紛れ込み、彼ら
 が火炎瓶を警官隊に投げ
 つけて逆に治安警察がデ
 モ隊に発砲。多数の犠牲
 者が出た。「右派セクタ
 ー」はスキンヘッドにか
 ギ十字という出で立ちで
 「反ユダヤ」「反ロシア」



バリケードの先端。黒タイヤが積み上げられていた

を訴える。この騒動を利
 用して、プーチンが「ウ
 クライナがネオナチに乗
 つ取られようとしている。
 ロシア系住民は虐殺され
 るかもしれない」とフェ
 イクニュースで危機をあ
 おる。その結果クリミア
 半島、ドンバス地方に住
 むロシア系住民が「ウク
 ラйнаとロシア、どちら
 に帰属？」というヤラセ
 住民投票を実施、「住民
 はロシアを選んだ」とロ
 シア軍が介入してクリミ
 ア半島略奪という結果に
 なった。

クリミア半島とドンバ
 ス地方にはロシア系住民
 が多数住んでいる。これ
 は旧ソ連時代のスターリ
 ンが、クリミアに住んで
 いたトルコ系タタール人
 をシベリアに強制移住さ
 せてロシア系を移住させ
 たこと、ドンバス地方の
 石炭や鉄鉱石を掘り出す
 ためにロシア系労働者を
 使ったことが関係してい
 る。スターリンはウクラ
 イナの穀物をモスクワに
 供出させ、約700万人
 のウクライナ人が餓死す
 るという悲劇を生み出し
 た。さらに第2次世界大
 戦中にヒトラーの迫害か
 ら逃れようと、ポーラン
 ドから大量にユダヤ人が
 流入する。商売上手なユ
 ダヤ人がキエフなど都市
 部に住み着いて一定の成
 功を収める。農民主体の
 ウクライナ人にとって、
 旧ソ連への恨み、ユダヤ
 人へのやつかみが少なか
 らずある。だから「ネオ

ナチ的な人々」が一定数
 いるのは事実。しかし大
 多数の人々は「ロシア系
 もユダヤもタタールも、
 みんな違ってみんないい。
 俺たちは仲良く平和に暮
 らしたい」と考えている。
 実態を確かめるべく右派
 セクターの集会に行つた
 が50名程度のしょぼい集
 まりだった。一方、テイ
 モシエンコ元首相の集会
 は大規模なもので、テレ
 ビ各局も取材に来ていた。
 日本でも在特会が「在日
 朝鮮人は出ていけ」とへ
 イトスピーチをするが、
 それは多数派ではなく多
 くの人々は自民、立憲、
 公明、共産など「普通の
 政党」を支持しているの
 と似たような構造だ。プ
 ーチンは、いわば「在特
 会をネタにした軍事介
 入」を行い、まんまとク
 リミアを併合した。この
 「成功体験」があるので、
 今回も「フェイクで焚き



ネオナチの集会は小規模だった

付ければ、ウクライナはすぐに崩壊する」と考えたのだから。

「2、3日でキエフを落とせる」と考えていたプーチンだが、本日時点で（3月11日）ウクライナは粘り強く抵抗している。理由の一つは「兵士の士気の違い」だ。アフガン侵略戦争でも強大なソ連軍がアフガンゲリラに負けたし、つい最近も米軍はタリバンに敗退した。つまり侵略する側、無差別に殺戮する側の兵士には厭戦気分が広がり、祖国を守る側の兵士は強

早く停戦させねばならないが、トルコによる仲介は失敗した模様だ。

恐ろしいのはプーチンの残虐性。12年〜14年にかけてシリア内戦を取材したが、アレppoは粉々に破壊された。病院、学校、商店街、モスク。人々が集まるところを口



広場を埋め尽くしたティモシェンコの大集会

固になる。ロシア軍は産科病院を空爆したり、原発にミサイルを撃ち込んだり、暴虐の限りを尽くしている。ウクライナの粘りもそろそろ限界に近づいてくるので、一刻も早く停戦させねばならないが、トルコによる仲介は失敗した模様だ。



ロシアは徹底的にアレppoを破壊した

訴えるロシアの人々、プ

シアはことごとく空爆した。「抵抗する者は皆殺しにする」。そんなプーチンを国際社会は止めることができず、ロシアの庇護の下、アサド政権は生き残った。おそらくシリアでの「成功体験」があるので、すぐに停戦させないとキエフで同じことが起きてしまう。

きた。話し合いによる、

も共有する核はアメリカのもので、アメリカの同意がないと使用できないし、基地や原発などを持てば持つほど、狙われてしまうのだ。そもそも米口こそ、侵略戦争を繰り返している「戦争犯罪国家」で他方、軍隊を捨てた国コスタリカは、中南米の平和運動の核にな

逆には、最も馬鹿げた対応は「ウクライナのようにならないために核を共有すべきだ」と、この機に乗じて、核武装を訴える安倍晋三や松井一郎などの政治家たちだ。そもそも共有する核はアメリカのもので、アメリカの同意がないと使用できないし、基地や原発などを持てば持つほど、狙われてしまうのだ。そもそも米口こそ、侵略戦争を繰り返している「戦争犯罪国家」で他方、軍隊を捨てた国コスタリカは、中南米の平和運動の核にな

選挙が非常に重要になる。

ニセ情報で国民を騙して戦争状態に持っていき、つまり安倍、松井などの右翼政治家とプーチンは似通っている。北方領土の返還協議を全く進捗させずに、「ウラジミール」「君」と呼び合って、プーチンに3000億円を提供したアベ政治。この金の一部が今、戦争に使われている。次の参議院

つまり積極的平和外交こそが唯一の解決方法だろう。

3ヶ月後には参議院選挙がある。「憲法9条を守るか改悪するか」が最も大きな、そして隠された争点になる。自民や維新はこれをまともに掲げずに、最小限の議論ですり抜けて、選挙で勝利すれば、「9条改憲が認められた」と大騒ぎしつつ、改憲発議をする可能性が高い。

ウクライナからの留学生

西村麻衣 (大阪YMCA)

37

中・高とバレーボールに青春を費やした私は、大学でも1年のブランクの後にバレーボール部に入部しました。大学時代はコーチや監督もおらず、自分たちでメニューを考え、練習試合を組み、チームとして成長していくのがとても楽しかったのを覚えています。私の大学は外国語大学だったので、各国から多くの留学生が集っていました。スイスとウクライナからの留学生がある時期から私たちの部に参加し、スポーツを通して文化や言語の交流ができたこと、純粋に仲間として共に汗を流し笑い合えた日々を、大切な思い出として覚えています。

ウクライナからの留学生はその後帰国し、私と同じライフステージを歩んでいます。結婚して、こどもが生まれて…1つ大きく変わってしまったのは、彼女の国で戦争が始まってしまったという事。部活の仲間にはロシア語専攻の者もあり、社会人になってロシアやウクライナと関係する働きをしたり、長年現地に渡って働いていたり、両国と関わりながら活躍していました。彼女たちも今、企業として今後ロシア部門が存続できるのかという不安を持ち、繋がりのある双方の国の友人や家族のことを思い、両国に生きる人々の現状に心を痛めています。

青春時代を共にした仲間が今、小さな子どもと共に戦禍の中にいるという事実。彼女は「21世紀のヨーロッパでこんなことが起き得るなんて想像すらできなかった。首都キエフの近くに住んでいるけれど、今家族は安全な場所にいる。私たちはみんなできる限り早くこの状況を終わらせたいけれど、同時に自分たちの国のため、この侵攻を終わらせるために戦う準備はできている」と伝えてくれました。

2月24日のロシアのウクライナ侵攻の日から、私ならどうするか、ずっと自問しています。5才と3才の娘たちの命を守るために退避するだろうか。夫だけを置いていいのか。日々関わって来た想定外のことが苦手なこと

もたちを守るだろうか。圧倒的な暴力に制圧される未来を迎えるのなら、最後まで戦うことを選びたい、でも娘たちの命を危険に晒す覚悟が持てるのだろうか。そもそも戦後教育の中で平和への思いを受け継いだ私は、彼女のように国のために戦う選択肢を持ちうるだろうか。

日々自問しながら、2013年にミャンマーの民主活動家の方から聞いた「私たちの背後には、何万人ものミャンマー人の命がかかっている。だから生まれたばかりの娘と離れてでも戦うことを選んだ。」という言葉に改めて噛み締めています。なんて辛い選択を、この人たちはしてきたのだろう。なんて苦しい選択を、世界は人々に強いるのだろう。そして、どうして私たちはそれを繰り返してしまうのだろう。私はただ、1人の友人としてウクライナにいる彼女には生きていてほしい、こどもと家族とともに幸せに暮らしてほしい、と思っています。ウクライナの人々も、ミャンマーの人々も、イラクやアフガンに生きる人々にも、“生きていて、でも負けないで”と矛盾する気持ちで祈る毎日です。

最後に、名前も知らないある方について触れたいと思います。ウクライナ侵攻が始まってから、大阪の片田舎の小さな駅前で、70歳を超えているだろう男性が、寒い中毎朝お1人でサイレントスタンディングをされています。手にはウクライナの国旗を持って。最初はなぜここで?と聞いていました。彼がそこに立つことでは、何も変わらないのにと。でも毎日見るその姿に、私はだんだんと胸が熱くなりました。そこに立ち続けずにはいられない、高齢の方の胸の中にあるものは、強い反戦の意志であり、平和への祈りだと思いました。少なくとも私はその姿から、戦争をなくすために戦い続けようと思いを新たにしました。戦争を止めるために、私たち1人ひとりができることはとても小さいかもしれませんが、しかし、諦めずに繋がり、声を上げることで救われる命があると信じています。

アフガン緊急支援のお願い

アフガンの人々はこの20年で最も悲惨な生活に陥っています。主な原因は米国の経済制裁です。タリバン政権には援助できない、と多くの国や国際機関、支援団体がカブールから引き上げてしまいました。「カブールの街全体が難民キャンプ」のような状態になっています。確かに女子教育が妨害されている、音楽もスポーツも映画もない、コーランだけが響き渡る街になった、という「西側的な批判」はあります。でも自爆テロも銃撃戦もなくなり、一定の平和が訪れているのも事実です。病院や少女の孤児院、女子高校や難民キャンプへの支援は、引き続き必要です。うまく行けば、次回は8月にアフガン入りする予定です。人道的な危機が訪れていますので、今年は定期的に送金してアブドラを通じて小規模な援助を継続しつつ、8月にまとまった援助を行いたいと考えています。少額で結構ですので、ぜひ引き続きのご支援をお願いいたします。

編集後記

アフガンもウクライナも、ロシアの侵略から悲劇が始まりました。旧ソ連の崩壊はアフガン戦争の失敗が大きな原因の一つ。おそらくプーチン政権もこの戦争が原因で崩壊するでしょう。問題はこうなる前になぜ止めることができなかったのか?ということ。そもそも旧ソ連が崩壊したのに、なぜNATOが東方に拡大していたのか?米国はなぜ直前に首脳会談をキャンセルしたのか?戦争の結果、欧州は軍事費を増大させ、米国の石油は高値で売れていきます。一部の人たちにとって戦争=利権です。

【お知らせ】

1. ニュースレター配布停止は 御手数ですが、当会までお知らせ下さい。尚、ニュースレターはメール便で発送しております。転居先まで追跡ができませんので、転居がございましたらお知らせしていただけると非常に嬉しいです。よろしく申し上げます。
2. DVD戦争あかんシリーズの感想をお待ちしております。
〒564-0041 吹田市泉町1-22-33 電話 06 (6170) 4757
ご意見、感想などはこちらにお寄せください、お待ちしております。nishinishi@r3.dion.ne.jp

募金のあて先

- ① 三井住友銀行 吹田支店
普通 3712329
イラクの子どもを救う会 西谷文和
- ② 郵便振込 00970-5-222501
イラクの子どもを救う会